



夢を叶えるブログ術



そろそろ自分に言い訳するのをやめないか？

社会が悪い。時代が悪い。他人が悪い。会社が悪い。
時間がない。お金がない。才能がない。運がない。
もう言い訳はうんざりだ。

てめえの腐った心を撃ち抜け。

人生を楽しく生きるために
人生を幸せに生きるために
まずは好きなことをテーマに
ブログで情報発信を始めよう。

ブログは夢を叶えるツールになる。
グダグダ言い訳している暇があったら
今すぐブログを始めよう。

そう。
時代や社会のせいにして
言い訳ばかりして自分から逃げていた私が
ブログのおかげで次々と夢を叶えることができたように。





イラスト:赤羽進之介

I サラ金社員から転身し 夢を叶えたかさこヒストリー

ねえ、信じられる？
今から17年前、私はサラ金会社の社員でしかなかった。
それが20冊もの本を出し、
映画監督をし、全国各地で講演している。
なぜそんなことができたかって？
16年間ほぼ毎日、好きなことをネットで発信したからだよ。
自分に言い訳するのをやめて
好きなことに向かって突き進んできたからだよ。
どうやったら普通の会社員が次々と夢を叶えられるのか。
これまでの軌跡とともに、人生の7つの教訓を紹介しよう。

【人生の失敗】22歳(1997年) 人生の敗北～好きから逃げてサラ金に就職



エジプト・ルクソール

好きなことなんて仕事にできるわけがない。大学卒業を控えて就職活動を始めた私は、今後の進路選択を迷いに迷っていた。マスコミ関係や旅行関係の仕事がしたい。でも、好きなことなんて仕事にできるわけがない。仕事は生活費を稼ぐのが目的であって、好きなことは趣味でやれば十分。ちょうどその頃、就職氷河期になったこともあり、「こんな厳しい状況でマスコミ関係など受かるわけがない」と思い、好きな業界に挑戦せず、好きでもない会社の採用試験を受けまくり、40社以上落とされた挙句、やっと内定が決まったのが大手サラ金のアイフルだった。その時、私は「人生の敗北」だと思った。今まで必死になって受験勉強をして、いい高校にも入り、いい大学にも入ったにもかかわらず、就職できたのがサラ金なんてと。でも就職すると、意外とよかった。残業もなく休日出勤もなく、いい給料をもらえるからだ。休みもとれて海外旅行も行ける。部内のトップセールスマンにもなり、会社の居心地は最高によかった。「やっぱり好きなことを仕事にしないでよかった。仕事は生活のために稼げればいい」。そんな風に思いながらも、どこかで夢を捨てきれず、100万円出して「エジプト旅行記」という本を自費出版。大ベストセラーになったらいくらもらえるのかと、印税の計算をしていたが、売れたのはわずか300冊。「やっぱり好きなことなんて仕事にできるわけがない」と、自分で努力もせず、時代や社会に文句を言っていたのだった。



1998年に自費出版した本

人生の失敗
好きなことをあきらめて
ラクな道、得な道ばかりを選んでいた。

【人生の転機1】24歳(1999年) 会社を辞めてアジア放浪へ



チベット・ラサ

【人生の転機2】25歳(2000年) 未経験からマスコミ業界に



ベトナム・ファンラン

居心地のよい会社に勤めながら、趣味で旅行に行く生活こそ最高だと思っていたが、仕事が忙しくて体調を崩し、楽しみにしていたインド旅行に行けなくなり、家で寝込んでいた時に人生を考え直した。「このままでいいのか」「たった一度の人生。やっぱり好きなことをしたい」。したいと思ったことは2つ。長期でバックパッカーの旅をすること。もう1つはマスコミ業界に転職すること。でも会社を辞めて長期の旅に出るなんて無謀ではないかと思った。金銭的にも難しいのではないかと。でもその時に「どのくらいお金が必要なのか計算してみよう」と考え、自分が行きたい国の旅行ガイドブックを10数冊買い込み、旅行したらいくらかかるのか計算し、帰国後、しばらく無職で生活するにはいくら必要なのかを計算してみた。するとどうだろう。あと半年がんばって働き、毎月貯金しながらボーナスをもらえば可能であることがわかった。「なんだ、意外とできるかも」。そう思った私は、会社を辞めて旅に出る決断をした。親からも恋人からも会社の人からも猛反対されたが、会社を辞めて4カ月の旅行に出た。

「ほんの少しの非常識とほんの少しの決断力さえあれば誰だってこんな自由な旅ができる」。旅に出た初日に書きとめた言葉。そう、したいことができるかどうかは「ほんの少し」踏み出せるかどうかなんだと思う。



4カ月のアジア放浪から帰国後、好きなことを仕事にしようと、マスコミ業界に転職活動を行った。しかしことごとく書類で落とされた。マスコミ未経験で前職はサラ金、さらに道を踏み外して長期旅行をしてしまうような中途半端な第二新卒などこも厄介払いだったのだ。貯金を食いつぶす日が続き、どんどん選択肢がなくなっていき、余裕で転職できると思っていた甘さを痛感させられることになった。「サラ金業界に戻るしかないかも」。追い込まれる状況の中、最後に唯一残っていたマスコミ関連の制作会社の面接で、何か思いきったことを言わないとこのままでは落ちると考え、「3年でフリーランスになる!」と豪語し、意欲をアピール。社内では私を採用するかどうかが賛否両論あったらしいが、意欲を評価してくれて、60人応募で3人合格の狭き門を通過できた。マスコミ業界に潜り込むことができたのだ。希望の転職はできたが、生活レベルは下がった。年収は100万円減少し、風呂なしアパートに引越。残業時間も長く、仕事も覚えることばかり。でも楽しかった。好きなことを仕事にできる夢に近づけたから。ここで働いたことはすべて自分の力になるから。また2000年2月に自力でホームページ「かさこワールド」を立ち上げ、毎日更新を始めた。ネットで発信すれば好きなことが仕事になるのではと夢見て。



2001年当時のホームページトップ画面

人生の教訓1 したいことが本当にできないのか検証すればいい。意外とできるかもしれない。

人生の教訓2 不利な状況なら思いきったことをして人とは違うことをアピール。

【人生の転機3】27歳(2002年) 椎間板ヘルニアで寝たきりに フリーランスの挫折からトラベルライターに



中国・青海省

マスコミ業界に転職できたが、自分のしたい仕事ができない。そんな悩みや焦り、不満を感じている中、ある日、突然、腰が痛くなり、歩けなくなり寝たきりになってしまった。まさか27歳で寝たきりになるとは……。もし治らなかったらどうしようという思いがよぎると後悔ばかり。元気なうちにもっとあれもすればよかった、これもすればよかったと。そこで1カ月入院している間に、したい仕事をするために会社を辞めてフリーランスになろうと決意。幸い椎間板ヘルニアは治り、独立することに。しかも独立した矢先に、中国に取材に行く仕事が入り、今までなかったトラベルライターの仕事があっさり決まった。

幸先のいいスタートだったが、その後、仕事が続かず。生活のためにギヤラが安くてつまらない仕事を何件もこなさなければならなかった。その時にふと気づいた。「何のために独立したのか?独立することが目的ではなく、好きな仕事をするのが自分の目標ではないか」と。そこでフリーランスに固執せず、

トラベルライターの仕事ができる会社に転職しようと、マスコミ電話帳の300件のリストから電話をかけまくり、「社員で採用してくれませんか」とアプローチをかけたところ、旅行ガイドブック「るるぶ」の仕事をしている制作会社に転職することができた。転職早々、ラスベガスの取材にも行き、年間4~5回、海外取材ができるようになった。



60万円のレーザー手術失敗後、1カ月入院し切開手術で治る



【人生の転機4】30歳(2005年) / 32歳(2007年) 念願の著書出版 / ミラクル営業で写真集出版

インド・アグラ

編集プロダクションでライター、カメラマンとして正社員で働きながら、いつか自分の本を出したいという夢を持っていた。夢を実現すべく2000年にホームページを立ち上げ、ほぼ毎日記事を更新していたが、その中で人気だった記事がサラ金勤務時代の実体験話。それが出版社の目にとまり、なんと出版が決まったのだ。大喜びし、ネットで大々的に本が出ると自慢していたものの、なんと数カ月後に「社内の事情で出版できなくなった」との連絡が。出版するって言いふらしちゃったのに……。落胆していたが、せっかく原稿を書いたのだから、他の出版社に売り込めばいいと考え、マスコミ電話帳から出版社数十社に手当たり次第電話。すると1社が原稿を気に入ってくれて出版決定。本を出したいという夢が30歳で叶うことになった。

写真集を出したいという夢もあった。そこで会社勤めしながら合間を見て、出版社に営業をしていた。ある出版社に電話し「海外子供写真集を出したい」と売り込みしたら断られたが「猫写真も撮りためている」とくらいいつたところ「それなら出版できるかも」という話になり、アポがとれることに。ただ猫写真は企画会議で「ノラ猫は汚い」と却下。それにもめげず「工場の写真も撮っているんですけど」と、スマホがない時代、携帯音楽プレイヤーに入れていた写真を見せたところ「これはいい!」という話になり、31歳の時に工場写真集の出版決定。翌年、写真集を出すことができた。しかもシリーズものの担当になり、11冊の写真集を出すことに。カメラの専門学校にも行ったことがない私に奇跡が起きた。



1冊目の著書



念願の写真集

8 **人生の教訓3** 手段と目的を混同しない。
したいことをするためにベストな手段を選ばばよい。

9 **人生の教訓4** 断られてもあきらめない。数うちゃ当たる。
いろんな引き出しを持っておき、常に準備しておく。

【人生の転機5】37歳(2012年)
社長とケンカし独立



ベトナム・ホーチミン・スイティエン公園

編 集プロダクションで正社員として勤めながら、個人で写真集の出版などの仕事をするパラレルキャリアは、社員とフリーランスのいいとこどりで居心地が良かったので、会社を辞める気はまったくなく、独立したいとも思っていなかった。しかし勤めている会社の社長の息子の本をネットで批判したことがきっかけで社長とケンカになり、結果、会社を辞めざるを得なくなることに。その時、妻のお腹には子どもがいたので、こんな時に独立している場合ではなかったのだが、やむなく退職した。

ただこれまですでにいろんな仕事を個人でしていたことから、会社を辞めてもすぐに仕事があり、またネットで情報発信を続けていたのでいろんな仕事も入ってきており、フリーランスとして順調なすべり出しができた。2011年から営業ツールとして制作していたセルフマガジン「かさこマガジン」からも仕事が獲得できた。そのおかげで今では通勤ラッシュもなく、ストレスも少なく、時間も自由に使える、会社員時代より収入も増え、楽しく働くことができています。

ネットで情報発信を続ければ、個人ブランド力がつき、仕事を獲得できる。そのノウハウを伝えるべく、セルフブランディング&ブログ術講義やセルフマガジンの作り方講義なども始めた。



2012年夏に娘が誕生

【人生の転機6】38歳(2013年)
「かさこマガジン」がきっかけで映画監督に



死の町となった福島県双葉町

2 011年に東日本大震災が起き、度々取材のために被災地を訪れていた。特に福島原発そばの福島県いわき市に何度も行くようになり、津波や地震とはまったく違う原発事故の深刻さに関心を持つようになった。2012年には一般の人が立入禁止されている福島原発20km圏内の「死の町」を訪れ、津波や地震被害がないにもかかわらず、人が住めなくなってしまう原発被災の恐ろしさを痛感した。放射線量を測りながら死の町に入ったが、最高で約40マイクロシーベルト/時を記録。しかし頭が痛くなることもなく、気分が悪くなることもなく、鼻血が出るわけでもない。目に見えることも体にも感じることもできない放射能の恐ろしさを身を持って知った。

新潟県の柏崎刈羽原発の取材にも出かけ、そこで出会ったのが映画プロデューサーの矢間秀次郎氏。矢間氏に「かさこマガジン3」を郵送すると、そこに載っていた福島原発20km圏内レポートを見て、「ぜひかさこさんに原発映画の監督をお願いしたい」というウソみたいな話が。矢間氏から、原発計画を阻止した町が30以上もあるという話を聞いて驚き、映画制作未経験だったが、映画監督を引き受けることに。原発計画を阻止した和歌山と徳島の住民を描いたドキュメンタリー映画「シロウオ」の制作を2013年に開始し、2014年より上映スタートとなった。



2015年12月に映画「シロウオ」DVD販売

104分、3000円+税+送料100円
購入希望の方は、お名前、住所、電話番号を kasakotaka@hotmail.com までお知らせください。

【人生の転機7】40歳(2015年)

100人収容ホールでたった3人! 収益度外視でブログ術講義の全国行脚



山梨・甲府での講義は100人ホールで参加者3人

これまで東京でしかブログ術講義を行っていなかったが、たまたま2015年2月に大分中津を訪れた際に、「こんなにも地方で私に会いたいと言ってくれる人がいる」ことに気づく。そこで「うちの町でも講義してほしい」との依頼があれば、たった1人でもそこに行くことに。収益度外視で地方の読者の方ともリアルでお会いしたい、それがゆくゆくは未来の営業につながればいいとの思いから、2時間ブログ術講義の地方遠征ツアーをスタート。当初の予想に反し、行く先々でかなりの人数が集まってくれた。山梨・甲府で開催した講義は100人収容のホールを借りて参加したのはなんと3人!でも今回のツアーは収益が目的ではない。私に会いたいと呼んでくれた人のもとに行き、それがきっかけでいつかまた呼んでくれる時に、もっと人が集まればそれでいいと考え、各地で講義を行った。結果、2015年は21県26回、講義を行い、470名が受講してくれた。

さらに私の予想に反して、2時間ブログ術講義を開催した後、各地で全4回のかさこ塾をやってほしいとの声。地方で人が集まるのだろうかとの不安もあったが、大分中津、名古屋、京都、福岡の4カ所がかさこ塾開催に至った。

2時間凝縮講義の再録DVD販売!

講義には行けないけど自宅で見たい。そんな方のために2015年から全国各地で開催している「好きを仕事にするセルフブランディング&ブログ術」講義の再録DVDを販売します。

内容:約100枚の講義スライドをもとに、私が講義で話している音声解説付きのデータです。115分。WMV形式。データでもDVDでも内容は同じ。

- ・データ(ギガファイル便で動画データ送付):3000円(税込)
- ・DVD(データをDVDに焼いて送付):4000円(送料込・税込)

2015年かさこ講義地方ツアー21県26回開催!

※ピンク色の会は満席

仙台 3/19 16名	福岡 4/25 23名	取手 6/28 9名	鹿児島 11/9 21名
郡山 3/22 14名	秋田 4/30 9名	網走 7/10 7名	八王子 11/16 28名
京都 4/3 9名	名古屋 5/15 29名	広尾 7/28 35名	藤沢 11/24 32名
宇都宮 4/16 11名	福井 5/17 10名	広尾 9/2 40名	下関 11/29 9名
大阪 4/18 40名	静岡 5/30 14名	佐賀 10/15 8名	福岡 12/3 40名
岡山 4/19 13名	甲府 6/7 3名	大分田 10/24 10名	2016年は 1/21 大分 2/9 熊本 3/15 広島 で開催予定
大分中津 4/24 12名	札幌 6/13 14名	沖縄 11/7 14名	

直感で大分中津に雑談しに行ったのがすべての始まり

なぜ収益度外視の講義を始めたのか。2015年1月に、今までまったく知らなかった大分中津のスコーン屋さんのチツペさんから「かさこマガジン80部欲しい」「できれば秋頃、かさこさん呼びたい」とのメッセージが。そのメッセージを見て「ここは匂う。行った方がいい」と考え、2月に大分中津を訪れ、スコーン屋さんで雑談会を開催。その時、「地方でも私に会いたいと言ってくれる人がこんなにいるのか」と気づき、地方講義を開催することに。大分中津は初めてのかさこ塾地方開催を実現するなど、ご縁ができた場所となった。

交流会は必ず全員自己紹介

講義後、多くの会場で交流会を開催。でも見ず知らずの人たちが集まる交流会って、工夫をしな

いと時間の無駄、金の無駄、名刺の無駄になるだけ。つながりたい人とつながれない。たまたま席が近くの人とあたりさわりのない会話をして終わり。なぜそんな不毛な会になるかという、交流会の前に自己紹介する機会を設けないから。交流会を有意義なものにするため、私主催のものはほぼ必ず全員に自己紹介をしてもらう。すると誰がどんな人なのか分かり、興味の合いそうな人とつながることができる。

ピンクシャツ・ブランディング

ピンクのシャツをいっぱい持っているわけではなかったが、なぜかピンクシャツを着ているイメージを持たれて好印象だったので、プロフィール写真もピンクを着たものに変え、講義にはおおむねピンクシャツで行くことに。それが好評で「ピンクシャツといえばかさこさん」という印象に(笑)。

かさこ人生すごろく

これまでの私の人生をダイジェストで紹介します。



家族から見たかさこ像

インタビュー・原稿：家族の思い出ライター 鯨美紀さん

父 息子がえらかったのは中学から高校までの6年間、バスケットボール部の練習を一度も休まなかったこと。ずっと補欠だったのに、です。その粘り強さ、辛抱強さは本当にすごいなと思っていました。

父 息子は、くそまじめで融通が利かない性格なので、漠然と「客商売よりも技術屋の方が合っているのかな」なんて思っていたことはあります。

母 息子の勉強姿で忘れられないのは、冬でも「暖房は眠くなるからつけない」と言って、頑なにそれを守っていたことです。

母 息子は、自分というものがしっかりあって、相手へ気遣って妥協したり自分の意志を変えたりということがありません。もしかすると少し冷たく映るかもしれませんが、「常識だから」「親の言うことだから」という理屈だけでは動かない子で、「納得したことはする、納得できないことは絶対にしない」という基準がとてまはっきりしていました。

母 昔から、ここぞと決めたときは、思いきったことをする子でした。

母 息子は、ずば抜けて何かができるという子ではありませんでしたが、強いて言うなら、決めたことをコツコツと、過程を踏んで進めていくのは得意かもしれません。

弟 兄は一度何かを気に入るとひたすらそればかり。例えば、ラーメンでも、兄はあるお店の味噌ラーメンが気に入ると、何度行っても味噌ラーメンしか注文しません。ニュースステーションを見ながら食べ

ていたポテトチップスも同じで、特定のメーカーの「のり塩」しか食べないとか。

弟 兄はバカ正直なところもあります。例えば、父が賞味期限の切れた食品を送ってきたことがあるのですが、僕はお礼だけ言ってこっそり捨てるタイプ。兄は、「こんなものいらない」と言ってしまうタイプです。

弟 基本的に兄は今も昔も変わっていないと思います。人見知りではないけれど、人付き合いが得意というわけでもなく、淡々とわが道を進んでいます。

半年間、かさこ塾開催を断っていた ～かさこ塾誕生秘話～



II 好きを仕事にする大人塾 ＝かさこ塾ヒストリー

私はブログのおかげで様々な夢を叶えてきた。
そんな私を見て、数年前から
「ブログの書き方を教えてほしい」
「自分を宣伝する方法を教えてほしい」と多くの方から要望があった。
多くの人が夢を叶えるブログ術を知り、
実践することで次々と夢が叶うようになったら
こんな素敵な素晴らしい社会はない。
だから私はブログ術やセルフブランディング術を伝えることにした。

数年前から「ブログの書き方を教えてほしい」「かさこさんのようにブログを使って仕事獲得に結びつけたい」と多くの人から言われるようになった。だが私は断っていた。なぜなら、「好きなことを毎日ブログで発信し続けられようくなる」という以外、ノウハウはないと思っていたからだ。しかし多くの人から請われるようになり、自分がこれまでやってきたことを整理・体系化し、2時間のブログ術講義を行った。

それが大盛況だった。それを見たサンクチュアリ出版のイベント担当の高山直樹氏から「全4回でブログ術&セルフブランディング術の実践編みたいな講義をしたらどうか?」とのオファーを受けた。しかし私は半年間、断り続けていた。なぜなら2時間講義を聞いて実践してくれればそれで十分だと思っていたからだ。

半年断り続けていたものの、物は試しにとりあえず一度やってみようと思った。2時間講義でノウハウを教えても、聞きっぱなしで終わってしまう人も多いので、教えたことを実践してもらい、かつ私がアドバイスするようなものなら全4回でできるかもしれないと思ったこと。そして何よりそれぞれが黙々と一人で実践するより、同じ仲間がいて切磋琢磨しながらブログを発信していったら、拡散力がすごいことになるかもしれないと思ったからだ。そこで一度やってみようと、2014年2月にかさこ塾を開講した。

かさこ塾は2時間のブログ術講義にはない宿題がある。教わるだけではなく実際にやってもらうことで力がつく。宿題については私が添削&アドバイスする。また4回顔を合わせる受講者同士でアドバイスし合う。それが2時間講義にはない魅力となった。全4回のかさこ塾をする意義を感じることができ、何より私も多くの塾生=仲間と知り



サンクチュアリ出版の高山氏(左)

合えることが楽しく、以後、回を重ねていくこととなった。

2014年は東京で4期生まで開催。2015年は全国各地で2時間ブログ術講義をしたことがきっかけとなり、名古屋、京都、福岡、大分中津など地方開催を含む10回(5期生～14期生まで)実施し、2年間で塾生は約250名にもなった。

私の本業は編集・ライター・カメラマン。広告関連の仕事が多いので、かさこ塾やセミナーをしなくても十分稼ぐことはできる。というより広告関連の仕事をした方がはるかに効率よく稼ぐことができる。

でもかさこ塾はライター・カメラマン業とは別のおもしろさがある。今まで言い訳ばかりしながら行動できなかった人や、いろんなことをしていてもなかなかうまくいかなかった人が、かさこ塾をきっかけに、「私にもできるかも」と思い、好きなことを発信し、生き生きと輝きはじめ、自分の活動の幅を広げていく。そんな様子を見るにつれて、カメラマンやライターの仕事をしながらも、要望があればできる限りかさこ塾を開講したいと思っている。

多くの人が好きなことを仕事にできれば、その人自身も他の人も社会全体も幸せになれるのではないかな。そんな社会にしたい。多くの人が楽しく過ごせる社会になってほしい。そんな思いから、今、かさこ塾に力を入れている。



13期生 福岡



9期生 名古屋



福岡猫島ツアー



福岡打ち上げ



10期生 東京



11期生 京都



12期生 東京広尾



2015年12月のかさこ塾祭り(えびこ撮影)

かさこ塾年表

◆ 2014年 2月	1期生	東京	12名
◆ 2014年 5月	2期生	東京	23名
◆ 2014年 7月	3期生	東京	18名
◆ 2014年 10月	4期生	東京	18名
◆ 2015年 1月	5期生	東京	20名
◆ 2015年 4月	6期生	東京	20名
◆ 2015年 6月	7期生	東京	20名
◆ 2015年 6月	8期生	大分中津	10名
◆ 2015年 7月	9期生	名古屋	20名
◆ 2015年 8月	10期生	東京	20名
◆ 2015年 9月	11期生	京都	20名
◆ 2015年 10月	12期生	広尾	15名

◆ 2015年 10月	13期生	福岡	13名
◆ 2015年 10月	14期生	東京	20名

今後の予定

◆ 2016年 1月	15期生	仙台	
◆ 2016年 1月	16期生	大分中津	
◆ 2016年 1月	17期生	福岡	満席
◆ 2016年 1月	18期生	東京	満席
◆ 2016年 2月	19期生	鹿児島	
◆ 2016年 3月	20期生	東京	
◆ 2016年 4月	21期生	京都	

カリキュラム

※回によって変更の場合もあり

1回目 → ●セルフブランディングとは ●自己PR ●本気で好きなことを見つけるワークシート
●ブログ作成 ●ユニークな肩書きのつけ方 ●名前のつけ方

2回目 → ●なぜブログなのか ●自分理念作成 ●強みのわかるプロフィール作成 ●個人名刺の作り方
●仕事につなげるブログの書き方 ●ブログ文章の黄金パターン

3回目 → ●プロフィール写真の重要性 ●個人名刺フィードバック ●SNSの使い方(フェイスブック、
ツイッター) ●自分PRプレゼンの仕方 ●ブログを資産にする方法

4回目 → ●プレゼン ●かさこ塾まとめ ●3つのアドバイス ●3つのメッセージ

毎回宿題が出ます。宿題はやらなくても構いません。宿題提出者には私から個別アドバイスをします。塾卒業後に宿題を提出してもアドバイスします。

かさこ塾は10名以上集まればどこでも開催します(定員は20名まで)。

かさこ塾ホームページ <http://kasako.jp>

受講者感想

かさこ塾の5つのよいところ

- 1 かさこさんの実体に会える!
 - 2 多彩なメンバーと知り合える
 - 3 実地練習&フィードバック
 - 4 これから始める...という人にこそ一番役に立つ
 - 5 宿題をやると、自動的に、一通りのツールがそろう
- 異界絵師・緋呂さん

かさこ塾の3つのポイント

- 1 期限があるので動き出すことができる
 - 2 そこにいるだけで刺激になる人たちと出会える
 - 3 自分らしさ、自分を肯定することができるようになる
- 食いしん坊トラベルライター・菜妻子さん

かさこ塾をこっそり勧める7つの理由

- 1 少人数によるワークショップは最高!
 - 2 座学だけではなく、実技あり
 - 3 かさこさんのフィードバックがスゴイ!
 - 4 全4回の受講費はかなりお得!!
 - 5 メンバーがみんな熱心!!
 - 6 自分の特技やスキルを活かせるかも!?
 - 7 才能とは持続する情熱
- ブログ楽書き人・コーヘイさん

かさこ塾をきっかけに
全国各地に
楽しい仲間ができる

かさこ塾をしていてよかったことは全国各地に仲間ができたこと。一人でがんばっているだけでなく、お互いに応援し合ったり、刺激し合ったり、時には遊んだりする仲間ができることは、受講者はもちろん私にとってうれしい出来事。特に1000km離れた九州の大分中津の人たちと知り合うことができ、大分中津に東京や名古屋、京都、福岡の塾生を呼び寄せ、深夜まで泊まり込みで人狼ゲームというカードゲームに興じたり、福岡の猫島ツアーに行ったりと、くだらないことをとことん楽しむ仲間が40歳になってできるなんて思ってもみなかった。ブログをしていたからこそ、かさこ塾を始めたからこそつながれてきた縁だと思う。

できない理由を見つける天才 できる方法を1ミリも考えなかった

夢を語るなんてバカげた妄想

そうやって かつこつけて **自分から逃げ続けていた**

誰も自分に注目してないのにビビって

人の目 気にして **気を使いすぎて 袋小路**

プライドばかり高くで頭でっかちで動けない

何もせずに いつまでも **グダグダ** してるんじゃねえ

てめえの腐った心を 自意識過剰な気持ちを

捨てる 捨てる **くだらねえ** 心を撃ち抜け

Over the Rainbow

「時間がない」といういつもの口ぐせ

忙しさアピールして まるで芸能人気取り

政治家みたいに本気でしたいことを

先送りしてたらオオカミ少年になってた

スマホ片手にネットニュースに夢中になり

世の中 **陰謀論でわかった気になってた**

Over the Rainbow

作詞・作曲:かさこ

時代や社会のせいにして 自分じゃ一歩も動けない

誰も君のすねた気持ちなんか どうでもいい

悲劇のヒロイン 気取っても 誰もあんたのこと助けやしない

マジで生きる **死ぬ気で** やりたいことやってみろ

災害 戦争 突然の悲劇 人生の最終期限

自分じゃ決めることできない だから

たった一度の人生を やなことばかりに追われて

無駄に過ごし **生きてる意味なんてどこにもねえ**

自分のハンドルにぎって 行きたい場所に行けばいい

どこのゴールめざすかは **自分自身で決めろ**

Over the Rainbow

自立した個人の一匹狼の集団をつくる ～かさこ塾はダーマ神殿でありルイーダの酒場～

会社や国家などあらゆる組織に頼れなくなる時代に必要なのは、どんな環境でも生きていける個人力。そこでかさこ塾では、①自分の武器＝好きなことを見つけ、②自分の武器を磨き、③自分のことを宣伝する方法(セルフブランディング&プロダクト)を教えている。

かさこ塾はゲーム「ドラゴンクエスト(ドラクエ)」で例えるなら、転職を司るダーマ神殿。これまでのキャリアや経歴を活かしながら、新たな才能に気づいたり、新たなスキルを加えていながら、今まで以上に活躍できる能力を磨いていく。

これから会社員であろうともスポーツ界のように実力に基づき報酬が決まるフリーエージェントな社会になっていくだろう。そんな時に必要なのがフリーランス＝傭兵。何かプロジェクトがあれば、各々のスキルを持ち寄った傭兵集団が必要になる。ただ多様な能力を持った様々な職種が集まるコミュニティがない。そんな時、かさこ塾がドラクエでいうところのルイーダの酒場になり、いろいろな仲間を見つける拠り所になればいい。

個人力が問われる時代。かさこ塾は、自立した個人の一匹狼集団を目指していきたい。



イラスト:こまつきようこ

自分を宣伝する最強の武器！セルフマガジンの絶大なる効果

自分の活動内容や自分のできることを説明するのは意外と難しい。ブログを中心としたネットの発信により、多くの人に自分のことを宣伝できるようになったものの、一部の情報しか見てもらえなかったり、時には間違ったイメージで認識されたりして、活動内容のアウトライン(全体像)を理解してもら

うには難がある。そこでみなさんにおすすめしたいのがセルフマガジンだ。セルフマガジンとは自分PR冊子。会社には会社のことを宣伝する会社案内があるように、個人にも個人のことを宣伝する冊子があってもいい。そんな思いから私自身のセルフマガジンとして、2011年より毎年「かさこマガジン」を発行するようになった。

ネットと違って冊子にするのは大変。お金もかかる。手間もかかる。でもお金と労力に見合った、いやそれ以上の効果が期待できるツールだ。私自身、「かさこマガジン」の発行により、数十万円単位の仕事をいくつももらえたり、セミナーやかさこ塾にきてもらうきっかけになったりしている。



これまでの「かさこマガジン」

デジタル全盛の時代だからこそこの紙。紙はリアルで会った人にその場でばらばら見てもらえる。セルフマガジンに興味を持ってくれた人が、より詳しい情報をもとめてブログやホームページを見てくれるきっかけにもなる。セルフマガジンはネットメディア

を見てもらうためのポータル(玄関)にもなるのだ。8ページぐらいで十分なので、自分の活動内容が端的にわかるセルフマガジンをぜひ作ってほしい。ネットにはないセルフマガジンならではのPR効果を身をもって実感できるだろう。

第一回 セルフマガジン大賞実施！

セルフマガジンを多くの人に作ってほしいとの思いから、2015年12月に第一回セルフマガジン大賞を実施。全30作品の中から大賞を選び、大賞受賞者はかさこ塾の受講費を無料に。第一回の大賞は熊本在住のイラストレーターさささとこさん。福岡の塾生だったため、かさこ塾受講費3万5000円をキャッシュバックしました。第二回も予定していますので、ぜひみなさんもセルフマガジンを作ってみてください！



大賞作品

セルフマガジンの作り方 DVD販売！

どうやってセルフマガジンを作ったらよいかわからない。どうやってマガジンを活用したらよいかわからない。そんな方のためにわかりやすく解説した初心者向けセルフマガジンの作り方講義再録データ(1時間30分)を販売しています。データ3000円(税込)、DVD4000円(送料込・税込)

好きを仕事にするには覚悟と理念が必要

他人に何を言われようが、自分はこの活動をしていくのだという覚悟があれば、応援してくれる人も増え、お金は後からついてくる。覚悟がないから仕事ではなく趣味に思われてしまう。中途半端な気持ちでしているから、いつまでたっても仕事にならない。

覚悟を持つためには活動理念が必要。なぜこの活動をしているのか。この活動が他人や社会にどう役に立つことができるのか。自分は何を実現したいと思ってこの活動をしているのか。しっかりとした理念があれば、ブレずに活動を続けていく。

〈かさこ活動理念〉

文章、写真、動画、講演などを通じて
多くの人に“気づき”を与え

自立した生き生きとした個人を増やすことで
社会をよりよい方向に向けていく。

〈活動理念を具体化するための活動〉

1. 前向きに楽しく行動する、自立できる人を増やす

政治や社会が悪いのは一人一人の個人が悪いから。生活のためにいやいや仕事をしていたり、国や会社に依存して自分は行動せずに文句を言っていたり。暮らしやすい社会にするためには、一人一人が好きなことに邁進し、前向きに楽しく生き、自ら行動できる人が増えることだと思います。時代や社会のせいせず、仕事も家事も育児も様々な活動も、前向きに楽しく行動できる人を増やすきっかけとなる情報を発信し続けたい。

2. 多角的な見方を提供し、情報の偏りを正す

インターネットが普及し、情報があふれているように見える反面、一方的な情報や不確かな情報に流されやすい側面もあります。また既存の価値観や常識に捉われて行動できない人も多いのが現状です。そこで多角的な見方を提供し、情報の偏りを正す情報発信をすることで、物の見方の幅を広げ、選択肢の幅を広げる一助になりたい。

3. 世界はおもしろさであふれていることを伝える

大人になると生活に追われて、つついつまらないことばかりだと思ってしまうがちですが、様々な物に目を向けてみれば、この世界はおもしろいものであふれています。カメラマンやライター視点を通して、世界に満ちあふれている見過ごしがちなおもしろいことを伝えていきたい。

4. 人と人をつなぐメディアになる

自立した個人がそれぞれのスキルを持ち寄り、プロジェクトごとに仲間と組んで活動すれば、より大きな活動ができます。私の様々な発信を通して、自立した個人と個人とをマッチングさせ、人との出会いを促すメディア(媒介)になっていきたい。

夢を叶えるブログ術 基礎編 7カ条



Ⅲ 人生が楽しくなる 夢を叶えるブログ術

サラ金社員だった私が様々な人生の転機を経て、夢を叶えてきた。
夢を叶える大きな原動力となったのがブログ。
2000年からほぼ毎日更新し続けたことで、
好きなことが仕事になり、楽しく自由にお金を稼げるようになった。
ではどんな風にブログをすれば夢が叶うのか。
16年間の私のノウハウを紹介したい。

1 好きをテーマにブログを作成

夢を叶えたいなら、自分の好きなことをテーマにブログを作ればいい。どんなくでもないことでもいい。今、自分に才能がある必要はない。心の底から好きなことをテーマにブログで発信していけば、やがて仕事につながっていくだろう。ブログタイトルは知らない人が見ても、何をしている人なのか、何のテーマのブログかがわかるものに。肩書きなどを入れるとよい。

2 なりたい肩書きを名乗る

好きを仕事にしたいのなら、なりたいものを名乗ればいい。作家になりたいなら作家。カメラマンになりたいならカメラマン。肩書きをつければ、知らない人にも何をしている人なのか分かり、仕事につながる可能性が増える。また自ら名乗ることで一歩を踏み出すことができ、仕事にしていくなかで覚悟ができる。ただ肩書きはテーマを狭めるなどして、できれば専門性がわかるユニークなものに。

3 プロフィールで自己開示

肩書きを裏付ける信用力となるのがプロフィール。自分が何者であるのか、これまでどんなことをしてきたのか、なぜこの活動をしてきたのか分かる略歴を西暦年に沿って時系列で書いておくといい。できるだけ自分の情報を開示すれば信頼されやすくなる。出身地や出身校、年齢、趣味などを書いておけば、共通項があれば親近感を持ってくれる人が増えるはず。いいことはばかり書くのではなく、過去のマイナス経験も書き方によっては大きな武器になる。

4 サービスメニューをつくる

好きなことを仕事にするなら、自分は他人にどんなサービスが提供できるのか、メニューを作ってブログの最後に載せておけばいい。何ができるのかわかれば、仕事の発注につながりやすい。

5 活動理念をつくる

何のためにこの活動をしているのか、理念(ビジョン)を作り、ブログに掲載しておこう。自分の好きなことで他人や社会をどんな風にしたいか、どんなことで貢献できるのかがわかる個人版経営理念を掲げておけば、そこに共感してくれる人も増えるはず。また自分自身の活動指針にもなる。

6 毎日ブログを更新

ブログを作成したら、自分の好きなことをテーマに他人に役立つ内容で毎日更新すること。大事なのは中身より更新頻度。たまに気合いの入った記事を書くより、毎日60点でもいいから更新し続ける方が、読者もリピーターになりやすく、記事のストックにより検索順位も上がっていく。また何よりも軽いノリで書いた記事の方が気合いを入れて書いた記事より反響がよいケースも多いので書き続けよう。

7 SNSで拡散

ブログを更新したら、フェイスブックやツイッターなどSNSでブログ更新のお知らせをしよう。ブログを見てくれるきっかけは、これまで検索エンジンがほとんどだったが、今やSNSが主流。無名のブログでも始めたばかりのブログでも、いい記事を書けばSNSで拡散され、あっという間に多くの人に見てもらえることができる。

夢を叶えるブログ術 実践編 7カ条

ブログをする7つのメリット

1 日記にならず、他人に役立つ記事を書く

自分が好きなことを書き続けても、単なる日記では仕事にならない。「～～へ行きました!」「～～を食べました!」的な日記を書いても、知らない人にとってはどうでもいい情報。日記ではなく、日記をもとにそれがどう人の役に立つかを考え、他者目線で記事を書くことが大事。

2 出し惜しみしない

ブログでノウハウや情報を出し惜しみしてならない。「こんなことまで無料で教えてくれるの?!」というくらいサービス精神旺盛な記事を書けば、多くの人が読んでくれて、そこから仕事につながるだろう。

3 本音で書く

仕事をとりたがために、誰にでもいい顔する上っ面のお仕事ブログはつまらなくて読まれない。毒にも薬にもならないブログなど、誰も読んでくれないのだ。嫌われてもいいから本音で書く。自分の思ったことを素直に書く。その方が共感してくれる人が増えるはず。

4 前置きはカットする

ダメなブログはタイトルの内容とは関係のない前置きが長いこと。近況報告や、毎度おさまりの肩書き説明&自己紹介などをはじめに書いていると、イラッとされて読んでもらえなくなるだろう。いらぬ前置きはカットし、すぐにタイトルに即した本題に入りたい。できれば一番役立つ情報を一番前に。

5 タイトルを工夫する

どんなに素晴らしいことが書かれていても、記事のタイトルがへばいと読んでもらえない。タイトルだけは時間をかけて、どうしたら読んでもらえるかどうか、できれば何案も考え、思わずクリックしたくなるようなタイトルにすること。自分がどんな記事タイトルだと読みたいと思えるのか、他人のブログを参考に記事タイトルを工夫すればいい。

6 アクセス数狙いより自分のテーマを書く

ブログを始めるとアクセス数を気にするあまり、自分のテーマとは関係のない最新のニュースや話題に飛びついてしまいがち。しかしこうした記事を書いてアクセス数を増やしても仕事につながる可能性は低い。アクセス数が少なくても自分のテーマに沿って情報発信していく方が、その道の専門家として認知されやすくなり、仕事が入りやすくなる。

7 記事の最後に自己紹介を

ただブログを書いているだけでは仕事につながりにくい。記事の最後に問い合わせ先やホームページのURL、サービスメニューなどを書いておくといい。読んで終わりにならず、何人かは仕事に興味を持ってくれるはず。

1 知らない人に知ってもらえる

これまで自分のことを宣伝するには莫大な広告費がかかった。しかしネットの発信ならほとんどコストはかからない。ブログが検索エンジンに引っかかったり、SNSでシェアされれば、自分のことを知らない人にも知ってもらえる。ブログは自分を宣伝する絶好のメディアなのだ。

2 ファンができる、仲間ができる

定期的に更新していると、自分のブログを気に入ってくれる読者やファンができる。また同じような活動をしている仲間ができたります。リアル社会では出会えない人ともつながれるきっかけとなる。

3 思考の整理ができる

頭でもやや考えていたことを文章にすることで、自分の思考の整理にもなるのがブログのいいところ。書くことで自分のしたいことがはっきりしたり、悩んでいたことの解決策が見つかったりして、自分の棚卸しになるとともに、今後の活動の指針や道しるべにもなったりする。

4 貴重な記録になる

人は忘れやすい生き物。1年前にどんなことをしたのか、どんなことを考えていたかなんて簡単に忘れてしまう。しかしブログをしていれば記録に残る。また自分の過去を振り返ることができる。旅の思い出や読書録なども残しておく。

5 仕事が入る、集客ができる

ブログを書いていると、まったく知らない会社や個人から仕事の問い合わせが入るようになる。またイベントやセミナーを開催する際、更新頻度が高ければ集客にも役立つ。ブログ1記事書けば、世の中に1人、自分の分身である営業マンを世に放ったようなものというイメージでブログを書いていくとよい。

6 価格ではなく個性で差別化できる

ブログで自分の想いや人となり発信していけば、価格ではなく人間性や個性に魅力を感じ、仕事の依頼をしてくれる人が現れるはず。ブログの更新を続けていけば、価格競争に巻き込まれず、自分と価値観の合うお客さんを見つけやすくなる。

7 いろんな人に近況報告ができる

これまで知り合った人にわざわざメールで伝えるほどのことでなくても、ブログを日々更新していれば、知り合いへの近況報告になる。久しぶりに会った時にブログを読んでくれている人なら近況報告の手間も省けて、話の本題に入ることができる。

ブログのおかげで実現した7つのこと

1 本の出版

書籍化を念頭にブログを書いていたわけではなく、読者がおもしろいと思ってくれることをブログで書き続けていたら、それが出版社の目にとまり、書籍化することができた。23歳の時に100万円出して自費出版した私が、ブログを更新し続けることで、自費出版ではなく印税をもらえて本を出版できるようになったのはブログのおかげ。「いつか本を出版したい」。そんな夢を叶えてくれたのがブログ。1つのテーマで1年でも書き続けていけば、いつのまにか書籍化できるコンテンツになっているだろう。

ブログから書籍化したもの

検証・新ボランティア元年
一被災地のリアルとボランティアの功罪
(共栄書房)



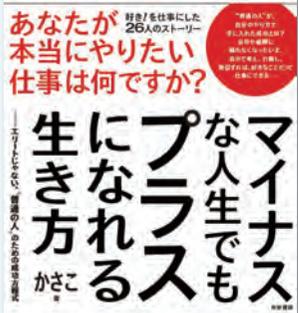
2011年に起きた東日本大震災の被災地取材を行い、大手メディアがあまり報道しない被災地や被災者の歪みや本音、ボランティアの功罪に踏み込んだ本。いっどこでまた自然災害が起こるかもわからない時代。自分が被災者になる前に読んでおきたい。

サラ金トップセールスマン物語
(花伝社)



私が2年間務めたサラ金での実体験をもとに描いた現代版ナニワ金融道的物語。紹介業者の実態やお金を借りる側の実態などがありありとわかる!

生き方インタビューが2015年6月に書籍化! マイナスな人生でもプラスになれる生き方 (共栄書房)



エリートじゃない、“普通の人”のための成功方程式
あなたが本当にやりたい仕事は何ですか?“普通の人”が、自分のやり方で手に入れた成功とは? 会社や組織に頼れなくなったいま、自分で考え、行動し、発信すれば、好きなことを仕事にできる!

<収録インタビュー> ※敬称略
神田山緑(講談師)、三井昌志(旅写真家)、林一章(伊賀FCノーマンコーチ)、永田知之(カメラマン)、唯野奈津美(カラオケ評論家)、矢部澄翔(書道家)、吉井江里(音楽教室主宰)、オカベテルマサ(プロガー)、丸井章夫(手相師)、海保けんたろー(バンドマン兼IT企業社長)、中村文也(居酒屋チェーン経営)、柴海祐也(農家)、依田花蓮(ダンサー・行政書士)、ソフィア・エムート(スピリチュアル・セラピスト)、三宅哲之(天職デザイナー)、藤野淳(コンサルタント)、佐藤政樹(人材育成トレーナー)、梶浦恭弘(パティシエ)、濱宏之介(美容師)、森透匡(コンサルタント)、川口徹(セールスコンサルタント)、土岐山協子(食育プロジェクト主宰)、中川ケイジ(ふんどし会社経営)、吉田美子(バッグ・ライフ・プロデューサー)、石山草子(農家)、藤嶋京子(会社経営)

2 写真集の出版



カメラの専門学校に行ったこともなく、カメラマンのアシスタントになったこともない私が、写真集を13冊も出せるようになったのは、撮った写真をブログにアップし続けていたから。好きなことを続けて発信すればチャンスは巡ってくる。

ブログから写真集化したもの

写真集「工場地帯・コンビナート」(グラフィック社):
京浜工業地帯ほか全国のコンビナートを撮影。

写真集「団地・路地裏・商店街」(グラフィック社):
昭和レトロな町並みや店など、古き良き日本の風景を撮影。

写真集「奇観建築・王宮・産業遺産・廃墟」(グラフィック社):
かざこワールド全開!
あっと驚く国内外の様々な建築物を集めた写真集。

写真集「ヨーロッパの街並・路地裏・村」(グラフィック社):
ヨーロッパの町並み写真を600カット以上収録!

写真がうまくなる! 難しい操作不要の写真撮影術講義DVD好評発売!

スマホでもきれいな写真が撮れるようになったデジタル写真時代に必要な撮影術とは、難しいマニュアル操作ではなくAUTOで撮影し、構図のコツを覚えること! かざこ流構図のコツをまとめた講義を再録し、スライド+音声ガイドの動画を販売中。データ2000円(税込)/DVD3000円(送料込・税込)。

3 猫写真の雑誌連載

ノラ猫がかわいくて全国各地の島猫を中心に撮影し、ネットにアップしていたところ、猫雑誌から声がかかり、猫写真&エッセイを十数回にわたって連載する仕事につながった。これまで全国20以上の島の猫を撮影。
<http://www.kasako.com/shimanekofoto.html>



4 講演依頼

これまでの自分の生き方や働き方、考え方をブログにアップしていたところ、中学校や高校、専門学校、経営者団体、地域団体など様々なところから講演依頼の仕事が。講演は喜んで引き受けていきますのでお気軽にお問合せください。

講演内容

「つまらない大人にならないために~好きから逃げた人生からの脱却」/「サラ金社員からトラベルライター、カメラマン、映画監督に転身できた私の夢を叶える方法」/「顧客開拓のためのネット&リアル発信術」/「被災地取材を通して感じた防災の教訓」/「世界各地を飛び回るトラベルライターから見た海外」など

5 旅行記の連載

会社を休んで趣味で旅行した時の写真や旅行記をネットにアップしていたところ、これまで取引のない会社から、Webサイトや会報誌などに旅行記の連載をしてほしいとの仕事のオファーが。好きなことをネットで発信していると仕事につながる。

国内外の旅行写真ストックが膨大にありますので、取材・撮影済の旅行記事を提供することができます。また執筆と撮影の両方ができるカメラライター（カメラマン&ライター）ですので、国内外の取材の仕事があれば喜んでお引き受けします。

か さ こ の 旅 行 訪 問 地

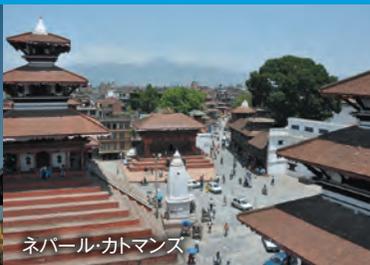
34カ国、54回海外旅行。合計滞在日数531日※2015年12月現在



インド・ラダック



ミャンマー・バゴー



ネパール・カトマンズ



イタリア・サンジミニャーノ



オーストリア・インスブルック



ドバイ・スターバックス

アジア

中国（シルクロード、雲南省、チベット、上海近郊水郷村、福建土楼、旧満州など）、韓国、香港、マカオ、台湾、インド、ラダック、ネパール、フィリピン、セブ島、ベトナム、ミャンマー、シンガポール、タイ、インドネシア、バリ島、ロンボク島、モンゴル、カザフスタン、ウズベキスタン

ヨーロッパ・アフリカ・中東

イギリス、フランス、イタリア、スペイン、ギリシャ、バチカン市国、チェコ、ハンガリー、オーストリア、ポーランド、ルクセンブルク、スイス、ドイツ、ベルギー、トルコ、エジプト、モロッコ、ドバイ



アメリカ・サンフランシスコ



アメリカ・グランドキャニオン



メキシコ・オアハカ



竹富島



美ら海水族館



本島・具志川城跡

北中米

ラスベガス、グランドキャニオン、ロサンゼルス、サンフランシスコ、シアトル、ハワイ、メキシコ

沖縄

沖縄本島、石垣島、竹富島、西表島、波照間島、小浜島、黒島、粟国島、座間味島、渡嘉敷島、久高島、伊江島

一度はぜひ行ってほしい インドをインストールせよ！



ぬるま湯に浸った日本社会にいと、情性で流されて、懸命に生きることをいつか忘れてしまう。だから私は定期的にインドを訪問し、強烈な刺激を受けて帰ってくる。ぬるま湯に浸って腐りかけた自分に喝を入れるためだ。

インド。それはすさまじい場所。町を歩けば牛がいてサルがいて犬がいて、そしてあふれんばかりの人・人・人。自分軸をしっかり持って歩いてないと、あっという間に飲み込まれてしまう。自分の意見を主張しなければ、あっという間にいいようにされてしまう。誰もが必死に生き、誰もが懸命に生きている。そんなインドという不思議空間に放り込まれれば、今を懸命に生きる大切さに気づかされるだろう。インドをインストールせよ！

爆笑名言「地獄へおちろ！」など旅動画をYoutubeチャンネルにアップ



インドやモロッコ、ベトナムでお金をぼったくろうとする詐欺師に会い、かざこぶち切れバトルしている様子を撮影したおもしろ動画ほか、旅の臨場感が伝わる市場、路地裏、舞踊などなど様々な動画をアップ。その他、見ているだけで癒される水族館の動画などをアップしているので、ぜひご覧ください。
<https://www.youtube.com/kasakotaka>

6 珍スポットの連載

ありきたりの観光地に飽きた私が、ここ最近おもしろおかしい珍スポットの写真を撮り始め、ネットでアップしたところ、出版社から声がかかり、雑誌で連載することに。毎月連載で3年以上続いている。これも立派な仕事です(笑)。

2016年に珍スポット写真集発売予定!

これまで私が訪れた50カ所以上の珍スポットを集めた珍珍写真決定版!



浅野祥雲 珍スポの父の三大聖地を訪問せよ!

「珍スポットの父」との異名を持つ(私が勝手につけた)浅野氏といえば日本を代表するコンクリート像作家。珍スポマニアにはたまらない、ユーモラスな像は一見の価値あり! 浅野作品が残る三大聖地である桃太郎神社(愛知県犬山市)、関ヶ原ウォーランド(岐阜県関ヶ原町)、五色園(愛知県日進市)にぜひ行ってみよう!



7 ブログを通じておもしろい人と出会える!



ブログをしていなかったら会うことはなかったであろう、波乱万丈なおもしろい人たちと会うことができた。そんなおもしろい人たちをブログの生き方インタビューに掲載したり、対談動画番組「かさこでいいかも」に出演してもらっています。特に動画の「かさこでいいかも」はおもしろい人となりがすごくよくわかるので、ぜひYoutubeのかさこチャンネルで見ただければと思います。
チャンネル登録 <https://www.youtube.com/kasakotaka>

かさこでいいかも出演者

Youtubeで無料で見れる! 抱腹絶倒! 爆笑対談!



空気を読めず周囲からウザがられた人生から脱却できたアスペルガー経営者アス直子さん



高校中退→調理人から社長に転身し豪遊も、金儲けに疑問を覚え、断食アドバイザーに! 田中裕規さん



合コン2000回! モテない男からモテる男へと変貌した恋愛アドバイザーアモーレ石上さん



社長夫人から転落し、自殺を考えた人生を救ったカードとの出会い インナーチャイルドカードセラピスト・ラファエラさん



夜はショーダンサー 昼は行政書士のニューハーフ! 依田花蓮さん



元ヤクザの娘、夫は蒸発し借金地獄からはい上がった奇跡のシングルマザー 人生復活請負人ソフィア・エムートさん



ダメ会社員が「ふんどし」で起業し「笑っていいとも」にも出演した信じられない話 日本ふんどし協会・中川ケイジさん



自信がなくていい子を演じ摂食障害、精神薬漬けから脱したシングルマザーの起業コンサルタント Rin (鈴木萌子)さん



何者でもないシングルマザーがブログで好きを仕事に! みそソムリエKeikoさん



超優良企業を退職し、ホストに転職したが失敗! Web仕事で独立起業し成功した情熱家 株式会社レバレッジ代表 只石昌幸さん

生き方インタビュー

おもしろい生き方、働き方をしている人をインタビューし、ブログで取り上げています。



普通のOLが未経験で26歳からチアリーダーに転身。様々な選抜メンバーになるほどの存在に! yaoさん



預けたいと思える保育園がないから自分で保育園を作った管理栄養士ママさん 小川佐保里さん



官僚を辞めて月間約30万PVのブロガー税理士に転身! イヤな客と付き合わない楽しく働く秘訣 井ノ上陽一さん



結婚できない女は戦略がないからだ! 婚活コンサルひろんさんの金持ち結婚の挫折と成功と教訓とひろんさん



大手企業を3年で辞め、独創的な絵画風写真で脚光を浴びる写真家 灰貝真知子さん



フリーターからアナウンサーに転身。自腹の投資経験を武器に活躍する 大橋ひろこさん

言葉の贈り物

人生、楽しく生きるための7つの言葉

死を想え～人生は有限

明日死んでも後悔のない人生と言えるだろうか?死はいつ訪れても不思議ではない。だからこそ死を意識しながら今を大切に生きたい。

才能とは持続する情熱

才能とは持って生まれた能力なのではなく、やり続ける気持ちがあるかどうか。寝食忘れて熱中できることが、やがては才能になる。

完璧主義を捨てる

毎日悶々としながら、いつまでたっても一歩踏み出せないのは完璧にしようとしているから。完璧主義などくそくらえ。60点でもいいから踏み出すことが大事。

質より量

質を意識するあまり、量の努力を怠りがちだが、数をこなすことを嫌がってはいけない。数うち当たる。場数を踏めば力がつく。質の前に量の努力を。

目的を明確化せよ

何のためにこの行動をしているのか。目的を明確にすれば、あきらめることなくゴールに向かって突き進んでいける。

期限を決める

いつかしたいは一生できない。いつまでにしたいのか、期限をしっかりと決めることで、逆算的に夢を叶えるためのスケジュールが立てられる。

人との出会いが人生を変える

自分自身の努力も大切だが、人生を大きく変えてくれるのは人との出会い。いろんな人に自分の活動を積極的にPRしていきたい。

エピローグ

本気で好きなことしか成功しない

私が16年間、ほぼ毎日ブログを更新し続けてこれたのは、好きなことだったから。好きなことでなければ、とっくの昔にやめていただろう。はじめの3年間はアクセス数が伸びず、1日100PVぐらいをうろろうろしていた。でもアクセス数が少ないからブログをやめようとは思わなかった。なぜなら好きだったから。伝えたいという想いがあったから。何より発信し続けていれば、いつか必ず自分の夢が叶うと信じていたから。

ブログは人生を楽しむ最強のツール。ブログは夢を叶える最強のツール。ブログの必要性を感じている人は多くいるのに、ほとんどの人は更新が続かなくなりやめてしまう。忙しいから?違うでしょ。好きなことではないからだ。夢を叶えたいと本気で思っていないからだ。本気で好きなことしか成功しない。続けた者だけが夢を叶える。

私は100億円もらったとしても、ブログの毎日更新はやめないだろう。なぜなら自分の文章や写真や動画を多くの人に見てほしいから。それが楽しいから。お金のため、仕事のためにやっているんじゃない。好きで続けていたら、それが誰かの役に立ち、結果、お金になり、仕事になっているだけ。たった一度の人生。毎日楽しく生きるために、好きなことをテーマにブログで発信しよう。そうすれば人生、180度変わる。そう、私がブログのおかげで次々と夢を実現してきたように。だから私はブログで夢を叶える方法を伝えていきたい。

あなたの夢は何ですか?

カメライターの仕事

- 取材・執筆・撮影
(ライター、カメラマン1人2役)
- 取材・撮影済みの記事の提供
(旅行記事、インタビュー記事など)
- 冊子・パンフレットの編集
(デザイン、印刷手配まで)
- ジャンル
金融、投資、経済、不動産、経営、キャリア、旅行など
- 取材形態
インタビュー取材、対談取材、セミナー取材、企業取材、店舗・工場取材など
- 媒体
ビジネス誌・マネー誌の記事広告、企業の会報誌・パンフレット・Webのコンテンツ制作など



2歳の時の娘が竹富島で撮影

ぜひご覧ください！

かさこネットツール

- 生き方・働き方・考え方の気づきとなる毎日更新ブログ「プロガーかさこの好きを仕事にするセルフブランディング術」
<http://kasakoblog.exblog.jp/>
(月間約30万PV)
- 国内外の旅行写真ほか猫、工場など写真満載！ホームページ「かさこワールド」
<http://www.kasako.com/>
- ツイッター @kasakoworld
フォロワー21045人
お気軽にフォローどうぞ。
基本フォロー返しします。
- フェイスブック「かさこたか」kasakotaka
友達5000人・フォロワー3540人
友達上限数に達してしまったため、お気軽にフォローどうぞ。
- Youtube「かさこチャンネル」
<https://www.youtube.com/kasakotaka>
チャンネル登録者726人
視聴回数50万4491回

講演・セミナー・かさこ塾

- 生き方・働き方などのキャリア講演
(中学生、高校生、大学生、専門学生、社会人などを対象)
- セルフブランディング&ブログ術講義
(2時間凝縮版)
要望があれば基本国内ならどこへでも行きます。
- セルフブランディング&ブログ術実践編
(全4回のかさこ塾)
10人以上集まれば基本国内ならどこでもやります。定員は20名まで。
- セミナー再録DVDの販売
(セルフブランディング&ブログ術、簡単写真撮影術、セルフマガジンの作り方術など)

読者の方へ

みなさまへのお願い

- 「かさこマガジン」を多くの人に見てもらいたいので、配っていただける方を募集。こちら負担で何部でも送ります。
- 「これはいい!」と思う私の記事があれば、シェア、リツイートしてください。
- 「おもしろい人がいるので紹介したい」「取材してほしい」「おもしろい話を聞いてほしい」など、何か情報がありましたらメールください。
- 「かさこマガジン」は広告なしにし、印刷費から配送代まで完全自費で初版2万部発行しています。「無料でもらうのは申し訳ない」という方がいれば、Amazonで買物する際、私のブログ記事の最後のリンクからお願いできれば助かります(商品は何でも可。お気に入りに入れておくとう便利)。購入代金の3~5%が私の収入に。マガジンの費用にさせていただきます。
- 住所変更した方はお知らせください。次号は変更先に発送します。